

2021年2月5日

たてくるジオパーク だより 第37号



発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー1 1 1ビル1階 ☎076-431-2089 📠076-482-3204

✉ info@tatekuro.jp

🌐 https://tatekuro.jp/

📘 https://facebook.com/tatekuro

立山黒部ジオパークが日本ジオパークとして再認定されました！

2021年2月5日開催の第41回日本ジオパーク委員会において、立山黒部ジオパークを日本ジオパークとして再認定することが決定されました。ジオパークの認定審査では、地域の地球遺産の素晴らしさは元より、地域の地球遺産を将来まで伝え残すための適切な管理、それに関わる地域のあらゆる人々が意識を共有した活動、長期的な視野のもとで計画的に活動を進められる運営体制など、ジオパークとしての活動していくことができる環境が整っているかを重点的に審査されます。さらに4年ごとに、これまでの活動と現在の状態を把握し、現状よりもさらに良い状態に向かうための課題を洗い出す再認定審査を受けることになっています。再認定審査の結果には「再認定」のほかに、活動の進め方や地球遺産の保護保全に早急に解決すべき重大な問題があり2年後に再度審査を行う必要があると判断される「条件付き再認定」があります。また、条件付き再認定2年後の審査でも課題解決にむけて前進できていないと判断されると「認定取り消し」となります。立山黒部ジオパークは2019年1月18日に日本ジオパークに条件付き再認定されました。以来2年目となることから、昨年、報告書の提出と現地調査による再認定審査を受けました。現地調査では、立山黒部ジオパークの活動に携わっていただいている多くの方々に参加していただき、前回の指摘課題に対して的確な対応をしていると調査員の方々に認識してもらい、その活動ぶりについて高く評価してもらうことができました。このことが日本ジオパーク委員会の審議においても評価されたものと受け止めています。その一方で指摘された課題もあります。これを真摯に受け止め、ジオパーク活動の更なる質の向上に向けて努めて参ります。以下に審査に関する立山黒部ジオパーク協会会長コメントと日本ジオパーク委員会からの報告文を記載いたします。

【中尾哲雄会長のコメント】

地道な活動を続けてきた結果が評価されたものと思ひ、再認定されたことをうれしく思う。われわれは富山の地域資源を「宝もの」としてこれを大切に守り、育みそして未来へ伝えていく活動を今後も推進していきたい。この「宝もの」を多くの人々に見ていただき、また教育への活用によって子どもたちのふるさと愛を育てていきたいと思う。

【日本ジオパーク委員会の報告文】

条件付き再認定となった2年前に課題とされた、関係者のジオパークに関する共通認識の醸成、事務局体制の強化、ジオパーク内の自然・文化遺産の保全のあり方の再検討などが大きく進展した。これら課題解決に向けた活動の結果、ジオパーク事務局のコーディネート機能と多様な主体の協働が強化され、保全・教育・ツーリズムなど重要な分野における活動が以前より盛んになっている。

以上のことから、日本ジオパークとして再認定する。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



35年ぶりの大雪 顛末記 (ジオパーク協会事務局職員 編)

2021年1月7日～12日にかけて、富山県では平野部を中心に35年ぶりの大雪に見舞われました。今回の大雪では、列車などの交通機関が止まったり、道路状況も悪くあちこちで車の立ち往生がおこるなど、たくさんの方が帰宅難民となったり道路状況に頭を悩まされる状況になりました。雪国とされている富山ですが、近年では温暖化の影響により平野部では雪の少ないシーズンの方が圧倒的に多くなっていました。そんな中での今回の大雪でした。自省の意味をこめて、富山駅近くの職場へ出勤していた協会事務局職員が7日から9日未明にかけてに体験した今回の大雪騒動を振り返りたいと思います。



7日は石川県金沢市へ向かうため列車に乗っていたところ、暴風雪の影響で県境あたりで列車が止まり、手配してもらったタクシーで移動することになってしまいました。8日は通勤に使用している列車が朝から大雪のため運休となっていましたが、午後に会議があったため、車で出勤しました。行きはまだ大丈夫でしたが、夕方の帰宅には5時間（普段は1時間程度）かかってしまいました。

8日午後打ち合わせのため、立山町へ列車で向かおうと思いましたが、大雪で運転見合わせになっていました。そのまま富山駅で運転再開を待っていましたが、夕方まで再開せず、家族に駅まで車で迎えに来てもらい帰宅することにしました。ところが迎えの車も積雪による道路状況の悪化による渋滞にはまってしまい、仕方なく2.5km程度雪の車道を歩いて、家族と合流し帰宅することができました。



通勤で利用している列車が運転見合わせになったため、富山駅などで運転再開をまっていた。運良く夜10時ごろに列車の運行が決まり、それで帰宅することにしました。ただ、列車に乗った後も、除雪等でたびたび列車が止まったりしたため、帰宅できたのは午前1時ごろとなりました。

8日、帰ろうにも列車が動かず家族の車に乗せてもらって帰ることになりましたが、大渋滞に合うことになりました。県道、国道、どこも動かない上、情報もない状況でした。特に一般道の道路情報については、道路情報やTwitter等でいろいろ探しましたが、全く様子が分からず、疲労が蓄積するばかりでした。道路は1時間で数メートル動くかどうか。車は長い列になり、日にちも変わったころ、停まっている車1台1台に「この先の橋でトラックが動けないから、まだ当分は回復しないよ」と警察官さんが声をかけに回ってこられました。車が動かない理由を知れたこの一言がとてつもなく、その後は開通することを待ち望みながら車の中で過ごすことができました。家に帰りついたのは富山の事務所を出てから14時間後でした。



今回の大雪では、雪とうまく関わる方法を考える機会を与えてくれました。大雪になる天気予報は出ていましたが、近年の経験から「そんなに大したことにならない」「なんとかなる」と考えた結果、上記のような体験をすることになってしまい、「災害は忘れたころにやってくる」を痛感した出来事になりました。現在、行政や交通機関、メディア、業者、市民といった各立場で、生活や交通がなぜ大きく滞ったのかについて検証が行われています。情報網の整備や公共交通機関、また柔軟な働き方等、多角的に連携をとって大雪に備えることの大切さを感じます。

今回の教訓

大雪になりそうな場合は・・・

- 基本はステイホーム
- どうしても出かけなくてはならない場合は、最新の交通情報をしっかりチェック。車の場合は、ガソリンは多めに（半分以上）。車内には、①スコップ ②毛布 ③飲み物 ④食べ物 ⑤携帯トイレ ⑥ホッカイロ ⑦モバイルバッテリーを入れておく。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



黒部川扇状地研究所 令和2年度 冬季研究例会

- ◎ 日 時：2021年2月27日(土) 13:00～17:00
- ◎ 会 場：入善まちなか交流施設 うるおい館 2F イベントホール1
- ◎ 内 容：13:00～ 開会
 叙勲・褒章や受賞された研究員のご紹介
 13:20～ 研究発表「黒部川の語源」
 寺島 禎一 氏 (扇状地研究所研究員)
 13:50～ 報告「移住して感じる扇状地の魅力」
 濱西 若奈 氏 (Cafe GANJU)
 14:25～ 調査研究部会の報告
 15:30～ 講演「黒部川における流域治水の取組」
 竹下 哲也 氏 (国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所 所長)

※ 聴講無料・一般参加者歓迎！

- ◎ お問い合わせ：一般社団法人 黒部川扇状地研究所
 電話 /FAX：0765-72-0013 メール：senjochi@ma.mrr.jp



立山黒部ジオパーク できごと & お知らせ

岩瀬 (東岩瀬) を散策しました

ジオガイドさんの案内で富山市岩瀬 (東岩瀬) のまち歩きへ行ってきました。岩瀬五大家筆頭の馬場家は、日本海側有数の廻船問屋です。最近公開された旧住宅は一見簡素ですが、その広さや造りなどに廻船業が盛んだった往時の面影を感じることができました。富山港展望台からは天気がよければ富山市の牛岳から朝日町の白馬岳、朝日岳まで立山黒部ジオパークエリア全体の山々を見ることができます。



萩ジオパーク体験型講座 地球を食べる食堂オンライン～むつみ・日本酒編に参加しました

オンラインで開催された萩ジオパークの体験講座「地球を食べる食堂」に参加しました。酒蔵見学や酒粕漬ワークショップ、日本酒造りと大地のつながりなど、盛りだくさんの内容で楽しい講座でした。送られてきた材料で、酒粕漬も作ってみました。日本酒もおいしかったです。富山のお酒よりも甘めの印象でした。



立山黒部ジオパークのHPに新しく「映像ライブラリー」「ジオ学習」ページが加わりました

立山黒部ジオパークのホームページに「映像ライブラリー」と「ジオ学習」ページが加わりました。「映像ライブラリー」では立山黒部ジオパークの紹介映像や学習教材として利用できる映像、職員などがサイトや見どころ等へ行った時に撮影した動画を掲載しています。「ジオ学習」ページには、理科や社会の地域学習の教材として扱ったり参考にしたりできるプログラムや資料を掲載しています。ぜひご覧ください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



連続落差日本一の滝 ～火山がつくった台地を激流が削る～

立山町芦峯寺にある称名滝は、高さ 350m、日本一の連続落差を誇る大瀑布です。雪解けの季節など水量が豊富な時期には、称名滝の隣に高さ 500 m の岩壁を流れ落ちるハンノキ滝も出現し、2つの滝が流れ落ちる壮大な景色を楽しむことができます。滝が流れ落ちる岩壁は、今からおよそ 10 万年前に、弥陀ヶ原火山が引き起こした火砕流が冷え固まった溶結凝灰岩ようけつぎょうかいがんと呼ばれる岩石で、現在の弥陀ヶ原台地の土台となっています。溶結凝灰岩は岩石の中では比較的柔らかいため、弥陀ヶ原台地は称名川によって削られ、深い V 字谷の称名溪谷がつけられました。およそ 7 万年前には、称名滝は今より 7 km 下流の立山駅付近にあったと推測されており、強大な水の力で火砕流台地が削られ、滝は現在の位置まで後退したと考えられています。その速度は、平均すると年間 10 cm にもなります。称名滝は、今も刻々とその姿を変えながら、弥陀ヶ原の台地を削り流れています。



称名滝 (左) とハンノキ滝 (右)

■ 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介していきます。



もっと向き合う、きつこたえる。

HOKUSAY

北星ゴム工業株式会社

富山県黒部市岡362-14 〒938-0054
TEL.0765-52-0001 FAX.0765-52-4429
www.hokusay-rubber.co.jp

安心・安全の生活環境を提案します。



北陸機材株式会社

本社/富山市綾田町1丁目6番22号
TEL 076-441-5411(代) FAX 076-441-0360



スマイルリーフ スピカ
中新川郡舟橋村東芦原127-1
TEL 076-461-3955(代) FAX 076-461-3956

会員を募集しています!

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしております。

※ 興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧ください。立山黒部ジオパーク協会 (076-431-2089) までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク

TATEYAMA KUROBE GEOPARK

